

大学番号 私立199

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

**認可**

京都先端科学大学 工学部 機械電気システム工学科

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人永守学園  
令和3年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人永守学園

## (2) 大学名

京都先端科学大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒615-8577

京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガモリ シゲノブ) 永守 重信 (平成30年3月)		
学長	(マエダ マサフミ) 前田 正史 (平成31年4月)		
学部長	(タバタ オサム) 田畑 修 (令和2年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 機械電気システム工学科  学士(工学)	工学関係	4年	200人	年次 人	800人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	/		/		/		200人	人	200人	人	0.55倍	- 倍	令和3年度入試は、4月入学160人、9月入学40人に分けて募集を行った。4月入学者数は99人であったが、9月入学の学生を59人確保しており、定員充足に関しては改善している。
志願者数	/		/		/		( )	( )	( )	( )			
受験者数	/		/		/		886	( )	654	( )			
合格者数	/		/		/		250	( )	255	( )			
B 入学者数	/		/		/		123	( )	99	( )			
入学定員超過率 B/A							0.61		0.49				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							123 [ 1 ] [ - ] ( ) ( )		115 [ 1 ] [ - ] (16) ( - )		
2年次									105 [ 1 ] [ - ] ( ) ( - )		
3年次											
4年次											
計							123 [ 1 ] ( - )		220 [ 2 ] ( 16 )		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度			平成29年度			
平成30年度			平成29年度			
			平成30年度			
令和元年度			平成29年度			
			平成30年度			
			令和元年度			
令和2年度	123 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	222 人	2 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	2 人	0 人	病気の為(1人)、除籍(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数 (a)}}{\text{平成29年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数 (a)}}{\text{平成30年度の在学者数 (b)}} = \frac{\#REF!}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{\#REF!} = \boxed{\#REF!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{123} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (b)}} = \frac{2}{222} = \boxed{0.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<工学部 機械電気システム工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
未来展望科目	コミュニティの再生	1前	2								1	
	生命の歩みと未来	1前	2								1	
	グローバルバージョンと多様性	1前	2								1	
	クオリティ・オブ・ライフの探究	1前	2								1	
	未来展望ゼミ	1前	2								4	
公民教養科目	日本国憲法	1前	2								1	
	健康スポーツ理論	1前	2								1	
	法学	1前	2								1	
	生命倫理学	1前	2								1	
	人権の歴史と現代	1前	2								1	
	宗教学	1前	2								1	
	哲学概論	1前	2								1	
	日本経済入門	1前	2								1	
	経営学総論	1前	2								1	
	生物学	1前	2								1	
	化学	1前	2								2	
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	19	
大学共通科目	英語文法 I	1前	2								7	
	英語文法 II	1後	1								7	
	工学英語 I	1前	2								7	
	工学英語 II	1後	2								7	
	アクティブ・リーディング	1前	2								7	
	アクティブ・リスニング	1前	2								7	
	英会話 I	1前	2								7	
	英会話 II	1後	2								7	
	英会話 III	2前	1								7	
	英会話 IV	2後	1								7	
	アカデミックライティング I	2前	1								7	
	アカデミックライティング II	2後	1								7	
	プレゼンテーション	2前	1								7	
	ディスカッション	2後	1								7	
	上級英語 I	2前	1								3	
	上級英語 II	2後	1								3	
大学共通科目	(留)日本語文字・語彙 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語読解 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語作文 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語文法 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語文字・語彙 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語読解 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語作文 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語文法 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語文字・語彙 応用	2前	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 応用	2前	1								1	
	(留)日本語読解 応用	2前	1								1	
	(留)日本語聴解 応用 II	2前	1								1	
	(留)日本語作文 応用	2前	1								1	
	(留)日本語総合 I	2後	1								1	
	(留)ビジネス日本語	2後	1								1	
	(留)新聞読解演習	2後	1								1	
	(留)日本語総合 II	2後	1								1	
	(留)ビジネス日本語 II	2後	1								1	
(留)論文読解演習	2後	1								1		
第2外国語	ベーシック中国語 I	2前	1								1	
	ベーシック中国語 II	2後	1								1	
	ベーシック韓国語 I	2前	1								1	
	ベーシック韓国語 II	2後	1								1	
	ベーシックドイツ語 I	2前	1								1	
	ベーシックドイツ語 II	2後	1								1	
	ベーシックフランス語 I	2前	1								1	
	ベーシックフランス語 II	2後	1								1	
	小計(45科目)	-	20	32	0	0	0	0	0	0	0	17

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
未来展望科目	コミュニティの再生	1前	2								3	
	生命の歩みと未来	1前	2								3	
	グローバルバージョンと多様性	1前	2								3	
	クオリティ・オブ・ライフの探究	1前	2								2	
	未来展望ゼミ	1前	2								15	
公民教養科目	日本国憲法	1前	2								1	
	健康スポーツ理論	1前	2								2	
	法学	1前	2								1	
	生命倫理学	1前	2								2	
	人権の歴史と現代	1前	2								1	
	宗教学	1前	2								1	
	哲学概論	1前	2								1	
	日本経済入門	1前	2								1	
	経営学総論	1前	2								1	
	生物学	1前	2								1	
	化学	1前	2								3	
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	36	
大学共通科目	英語文法 I	1前	2								5	
	英語文法 II	1後	1								5	
	工学英語 I	1前	2								7	
	工学英語 II	1後	2								7	
	アクティブ・リーディング	1前	2								5	
	アクティブ・リスニング	1前	2								5	
	英会話 I	1前	2								7	
	英会話 II	1後	2								7	
	英会話 III	2前	1								5	
	英会話 IV	2後	1								5	
	アカデミックライティング I	2前	1								5	
	アカデミックライティング II	2後	1								5	
	プレゼンテーション	2前	1								5	
	ディスカッション	2後	1								5	
	上級英語 I	2前	1								2	
	上級英語 II	2後	1								2	
大学共通科目	(留)日本語文字・語彙 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語読解 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語作文 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語文法 基礎 I	1後	1								1	
	(留)日本語文字・語彙 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語読解 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語作文 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語文法 基礎 II	1後	1								1	
	(留)日本語文字・語彙 応用	2前	1								1	
	(留)日本語聴解・会話 応用	2前	1								1	
	(留)日本語読解 応用	2前	1								1	
	(留)日本語聴解 応用 II	2前	1								1	
	(留)日本語作文 応用	2前	1								1	
	(留)日本語総合 I	2後	1								1	
	(留)ビジネス日本語	2後	1								1	
	(留)新聞読解演習	2後	1								1	
	(留)日本語総合 II	2後	1								1	
	(留)ビジネス日本語 II	2後	1								1	
(留)論文読解演習	2後	1								1		
第2外国語	ベーシック中国語 I	2前	1								1	
	ベーシック中国語 II	2後	1								1	
	ベーシック韓国語 I	2前	1								1	
	ベーシック韓国語 II	2後	1								1	
	ベーシックドイツ語 I	2前	1								2	
	ベーシックドイツ語 II	2後	1								1	
	ベーシックフランス語 I	2前	1								1	
	ベーシックフランス語 II	2後	1								1	
	小計(45科目)	-	20	32	0	0	0	0	0	0	0	23

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学共通科目	スタートアップ科目	スタートアップゼミA	1前	2			10	4	5				
		スタートアップゼミB	1後	2			10	4	5				
		小計(2科目)	-	4	0	0	10	4	5	0	0	0	0
	キャリア教育科目	キャリアデザイン	2後	2									1
		海外研修	1後	1									1
		インターンシップ	1後	1									1
		サービス・ラーニング	1後	1									1
	小計(4科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	
	スポーツ科目	スポーツ・ライフスキル I	1前	1									3
		スポーツ・ライフスキル II	1後	1									3
		スポーツ・ライフスキル III	2前	1									3
		スポーツ・ライフスキル IV	2後	1									3
	小計(4科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学共通科目	スタートアップ科目	スタートアップゼミA	1前	2			10	4	5				
		スタートアップゼミB	1後	2			10	4	5				
		小計(2科目)	-	4	0	0	10	4	5	0	0	0	0
	キャリア教育科目	キャリアデザイン	2後	2									1
		海外研修	1後	1									1
		インターンシップ	1後	1									1
		サービス・ラーニング	1後	1									1
	小計(4科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	
	スポーツ科目	スポーツ・ライフスキル I	1前	1									5
		スポーツ・ライフスキル II	1後	1									5
		スポーツ・ライフスキル III	2前	1									5
		スポーツ・ライフスキル IV	2後	1									5
	小計(4科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	0	7	





【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部専門科目	総合演習 プレキャプストーンプロジェクトⅠ	3前	2			10	4	4				
	総合演習 プレキャプストーンプロジェクトⅡ	3後	4			10	4	4				
	総合演習 キャプストーンプロジェクトⅠ	4前	2			10	4	4				
	総合演習 キャプストーンプロジェクトⅡ	4後	4			10	4	4				
	総合演習 研究室プロジェクトⅠ	4前	4			10	4	5				
	総合演習 研究室プロジェクトⅡ	4後	4			10	4	5				
	小計(43科目)		-	17	76	0	10	4	5	0	10	1
合計(142科目)		-	80	168	0	10	4	5	0	10	1	
卒業要件及び履修方法												
<p>【卒業要件】</p> <p>大学共通科目            未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位(外国人留学生は、日本語科目より18単位)以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。</p> <p>学部専門科目            専門共通科目(基礎)43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目(基礎)12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目(応用・発展)47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上を修得すること。但し、総合演習の「キャプストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」は、選択必修科目とする。</p> <p>大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】</p> <p>秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。            履修科目の登録の上限は、原則として48単位(年)とする。</p>												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部専門科目	総合演習 プレキャプストーンプロジェクトⅠ	3前	2			10	4	4				
	総合演習 プレキャプストーンプロジェクトⅡ	3後	4			10	4	4				
	総合演習 キャプストーンプロジェクトⅠ	4前	2			10	4	4				
	総合演習 キャプストーンプロジェクトⅡ	4後	4			10	4	4				
	総合演習 研究室プロジェクトⅠ	4前	4			10	4	5				
	総合演習 研究室プロジェクトⅡ	4後	4			10	4	5				
	小計(43科目)		-	17	76	0	10	4	5	0	10	1
合計(142科目)		-	80	168	0	10	4	5	0	10	1	
卒業要件及び履修方法												
<p>【卒業要件】</p> <p>大学共通科目            未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位(外国人留学生は、日本語科目より18単位)以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。</p> <p>学部専門科目            専門共通科目(基礎)43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目(基礎)12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目(応用・発展)47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上を修得すること。但し、総合演習の「キャプストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」は、選択必修科目とする。</p> <p>大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】</p> <p>秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。            履修科目の登録の上限は、原則として48単位(年)とする。</p>												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学共通科目	未来展望科目	コミュニティの再生	1前	2								3	
		生命の歩みと未来	1前	2								3	
		グローバル化と多様性	1前	2								3	
		コミュニティ・オブ・ライフの探究	1前	2								3	
		未来展望ゼミ	1前	2								14	
	公民教養科目	日本国憲法	1前	2								1	
		健康スポーツ理論	1前	2								3	
		法学	1前	2								1	
		生命倫理学	1前	2								2	
		人権の歴史と現代	1前	2								1	
		宗教学	1前	2								1	
		哲学概論	1前	2								1	
		日本経済入門	1前	2								2	
		経営学総論	1前	2								1	
		生物学	1前	2								1	
		化学	1前	2								3	
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	37		
大学共通科目	語学科目	英語文法Ⅰ	1前	2								8	
		英語文法Ⅱ	1後	1								6	
		工学英語Ⅰ	1前	2								8	
		工学英語Ⅱ	1後	2								7	
		アクティブ・リーディング	1前	2								8	
		アクティブ・リスニング	1前	2								8	
		英会話Ⅰ	1前	2								9	
		英会話Ⅱ	1後	2								8	
		英会話Ⅲ	2前	1								6	
		英会話Ⅳ	2後	1								6	
		アカデミックライティングⅠ	2前	1								6	
		アカデミックライティングⅡ	2後	1								6	
		プレゼンテーション	2前	1								6	
		ディスカッション	2後	1								6	
		上級英語Ⅰ	2前	1								3	
上級英語Ⅱ	2後	1								3			
大学共通科目	日本語科目	(留)日本語文字・語彙 基礎Ⅰ	1後	1								1	
		(留)日本語聴解・会話 基礎Ⅰ	1後	1								1	
		(留)日本語読解 基礎Ⅰ	1後	1								1	
		(留)日本語作文 基礎Ⅰ	1後	1								1	
		(留)日本語文法 基礎Ⅰ	1後	1								1	
		(留)日本語文字・語彙 基礎Ⅱ	1後	1								1	
		(留)日本語聴解・会話 基礎Ⅱ	1後	1								1	
		(留)日本語読解 基礎Ⅱ	1後	1								1	
		(留)日本語作文 基礎Ⅱ	1後	1								1	
		(留)日本語文法 基礎Ⅱ	1後	1								1	
		(留)日本語文字・語彙 応用Ⅰ	2前	1								1	
		(留)日本語聴解・会話 応用Ⅰ	2前	1								1	
		(留)日本語読解 応用Ⅰ	2前	1								1	
		(留)日本語聴解 応用Ⅱ	2前	1								1	
		(留)日本語作文 応用Ⅱ	2前	1								1	
(留)日本語総合Ⅰ	2後	1								1			
(留)ビジネス日本語Ⅰ	2後	1								1			
(留)新聞読解演習	2後	1								1			
(留)日本語総合Ⅱ	2後	1								1			
(留)ビジネス日本語Ⅱ	2後	1								1			
(留)論文読解演習	2後	1								1			
大学共通科目	第2外国語	ベーシック中国語Ⅰ	2前	1								1	
		ベーシック中国語Ⅱ	2後	1								1	
		ベーシック韓国語Ⅰ	2前	1								1	
		ベーシック韓国語Ⅱ	2後	1								1	
		ベーシックドイツ語Ⅰ	2前	1								1	
		ベーシックドイツ語Ⅱ	2後	1								1	
		ベーシックフランス語Ⅰ	2前	1								1	
		ベーシックフランス語Ⅱ	2後	1								1	
		小計(45科目)	-	20	32	0	0	0	0	0	0	0	22
		科目	トスタートアップ	スタートアップゼミA	1前	2			10	4	5		
スタートアップゼミB	1後			2			10	4	5			0	
小計(2科目)	-			4	0	0	10	4	5	0	0	0	
小計(4科目)	-			0	5	0	0	0	0	0	0	3	
キャリア教育	キャリアデザイン	キャリアデザイン	2後	2								1	
		海外研修	1後	1								1	
		インターンシップ	1後	1								1	
		サービス・ラーニング	1後	1								1	
		小計(4科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	3	
スポーツ科目	スポーツ	スポーツ・ライフスキルⅠ	1前	1								8	
		スポーツ・ライフスキルⅡ	1後	1								8	
		スポーツ・ライフスキルⅢ	2前	1								8	
		スポーツ・ライフスキルⅣ	2後	1								8	
		小計(4科目)	-	4	0	0	0	0	0	0	0	8	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
学部専門科目	通基 基礎知識的財産	1前 4後	2	2		1						1		
	理工学 物理学 I 物理学 I 演習 物理学 II 演習 物理学 II 演習	1後 1後 2前 2前 2前	4 2 6 2 2			1 1 2 2 2	2 2 2 2					4 4 4		
	工業 数学 科目	微分積分と線形代数 I	1後	4			1	1					4	
		微分積分と線形代数 I 演習	1後	2			1	1					4	
		微分積分と線形代数 II	2前	4			1	1					4	
		微分積分と線形代数 II 演習	2前	2			1	1					4	
		常微分方程式	2後	2	2		1		1				4	
		常微分方程式演習	2後	1			1		1				4	
		ベクトル解析	3前	2			1		1				4	
		ベクトル解析演習	3前	1			1		1				4	
		フーリエ解析と偏微分方程式	3後	2			1		1				2	
		フーリエ解析と偏微分方程式演習	3後	1			1		1				2	
	情報 処理 科目	数値解析プログラミング	1前	2			2		1				3	
		情報リテラシー	1後	2			2		1				3	
		Pythonプログラミング	2前	2			1	1	1				6	
		Pythonプログラミング演習	2前	1			1	1	1				4	
		C言語プログラミング	2後	2	2		2		1				4	
		C言語プログラミング演習	2後	1			2		1				4	
		C言語システムプログラミング	3前	2			1		1				4	
		C言語システムプログラミング演習	3前	1			1		1				4	
		ディジタル信号処理	3後	2			1		1				2	
		ディジタル信号処理演習	3後	1			1		1				2	
	小計(28科目)	-	35	23	0	6	3	3	0	10	1			
	学部専門科目	設計 生産 機械設計製図 機械設計製図演習 設計生産工学	3前 3前 3後	2 1 2			2 2						4 1	
		ロボ ット 工学 機械学・移動ロボット入門 ロボットマニピュレータ入門	3前 3後	2 2			1		1					
		計測 制御	計測工学	3後	2			1		1				
			センサ工学	4前	2			1		1				
			古典制御工学	3前	2			1		1				
現代制御工学			3後	2			1		1					
力 学		工業力学	2前	2			1		1				4	
		工業力学演習	2前	1			1		1				4	
材 料 工 学		材料力学	2前	2			1		1				4	
		材料力学演習	2前	1			1		1				4	
		物理化学	3前	2			2		2				2	
		物理化学演習	3前	1			2		2				2	
エ レ ク ト ニ ク 工 学		電気化学	3後	2			2		2				2	
		電池工学	4前	2			2		2				2	
エ レ ク ト ニ ク 工 学		電磁気学	2後	2			2		2				2	
		電磁気学演習	2後	1			2		2				2	
エ レ ク ト ニ ク 工 学		モータ工学基礎	2後	2			1		1					
		モータ制御	3前	2			1		1					
		アクチュエータシステム	4前	2			2		1					
エ レ ク ト ニ ク 工 学		送配電工学	4前	2			1		1					
		発変電工学	4後	2			1		1					
エ レ ク ト ニ ク 工 学		半導体工学	3前	2			2		1					
		パワーエレクトロニクス工学	3後	2			1		1					
回 路 工 学		電気回路	3前	2			2		2					
		アナログ電子回路	3後	2			2		2					
		論理回路	4前	2			1		1					
通 信 工 学		通信工学	4前	2			1		1					
		情報通信ネットワーク	4後	2			1		1					
実 験 ・ 実 習	デザイン基礎	1前	2			4	3	2				3		
	機械製作実習	2後	3			2		2				7		
	メカトロ実習(ロボット基礎)	3前	3			2		2				6		
	メカトロ実習(エネルギー)	3後	3			1		1				6		
実 験 ・ 実 習	メカトロ実習(ロボット発展)	4前	3			1		1				6		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部専門科目	総合演習	3前	2			10	4	4				
		3後	4			10	4	4				
		4前		2		10	4	4				
		4後		4		10	4	4				
		4前		4		10	4	5				
		4後		4		10	4	5				
	小計(43科目)	—	17	76	0	10	4	5	0	10	1	
	合計(142科目)	—	80	168	0	10	4	5	0	10	1	
卒業要件及び履修方法												
<p>【卒業要件】</p> <p>大学共通科目            大学共通科目            未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位(外国人留学生は、日本語科目より18単位)以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。</p> <p>学部専門科目            専門共通科目(基礎)43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目(基礎)12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目(応用・発展)47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上修得すること。但し、総合演習の「キャプストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」は、選択必修科目とする。</p> <p>大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。</p> <p>【履修方法】            秋学期入学の外国人留学生の学部専門科目の受講は、原則として日本人学生との合同授業にて行う。したがって、履修年次が異なる場合がある。            履修科目の登録の上限は、原則として48単位(年)とする。</p>												

- 黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

教育課程の充実をはかるため、「コミュニティの再生」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「生命の歩みと未来」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「グローバルゼミと多様性」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「クオリティ・オブ・ライフの探究」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「未来展望ゼミ」の兼任教員を追加し「4」から「14」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「健康スポーツ理論」の兼任教員を追加し「1」から「3」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「生命倫理学」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「日本経済入門」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「化学」の兼任教員を追加し「2」から「3」に変更。
兼任教員1名が退職し、教育課程の充実をはかるため、「英語文法Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英語文法Ⅱ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職し、教育課程の充実をはかるため、「工学英語Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リーディング」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「アクティブ・リスニング」の兼任教員を追加し「7」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅰ」の兼任教員を追加し「7」から「9」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「英会話Ⅱ」の兼任教員数を「7」から「8」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英会話Ⅲ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「英会話Ⅳ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「アカデミックライティングⅠ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「アカデミックライティングⅡ」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「プレゼンテーション」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
兼任教員1名が退職したため、「ディスカッション」の兼任教員数を「7」から「6」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅡ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅢ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「スポーツ・ライフスキルⅣ」の兼任教員を追加し「3」から「8」に変更。
助手の配置の適正化をはかるため、「デザイン基礎」の助手を「6」から「3」に変更。

【令和3年度】

教育課程の充実をはかるため、「未来展望ゼミ」の兼任教員を追加し「14」から「15」に変更。
「クオリティ・オブ・ライフの探究」の兼任教員を「3」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「健康スポーツ理論」の兼任教員数を「3」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「日本経済入門」の兼任教員数を「2」から「1」に変更。
担当科目見直しのため、「英語文法Ⅰ」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英語文法Ⅱ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「工学英語Ⅰ」の兼任教員数を「8」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「アクティブ・リーディング」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アクティブ・リスニング」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅰ」の兼任教員数を「9」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅱ」の兼任教員数を「8」から「7」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅲ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「英会話Ⅳ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アカデミックライティングⅠ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「アカデミックライティングⅡ」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「プレゼンテーション」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「ディスカッション」の兼任教員数を「6」から「5」に変更。
担当科目見直しのため、「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」の兼任教員数を「3」から「2」に変更。
教育課程の充実をはかるため、「ベーシックドイツ語Ⅰ」の兼任教員を追加し「1」から「2」に変更。
担当科目見直しのため、「スポーツ・ライフスキルⅠ」「スポーツ・ライフスキルⅡ」「スポーツ・ライフスキルⅢ」「スポーツ・ライフスキルⅣ」の兼任教員数を「8」から「5」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
43 科目	99 科目	0 科目	142 科目	43 科目 [ 0 ]	99 科目 0	0 科目 [ ]	142 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

### (3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

### (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{142} = \boxed{\phantom{0}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	109,617.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	109,617.09㎡	借地面積<太秦>			
	運動場用地	82,766.89㎡	0 ㎡	0 ㎡	82,766.89㎡	32,571.91㎡			
	小 計	192,383.98㎡	0 ㎡	0 ㎡	192,383.98㎡	借用期間:60年			
	そ の 他	76,103.94㎡ <del>75,370.94㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	76,103.94㎡ <del>75,370.94㎡</del>	その他借地733㎡を追加(3)			
	合 計	268,487.92㎡ <del>267,754.92㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	268,487.92㎡ <del>267,754.92㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	106182.21㎡ <del>106,836.16㎡</del>	0 ㎡	0 ㎡	106182.21㎡ <del>106,836.16㎡</del>	大学全体 駐輪場をに二重に計上 していたため修正(3)			
	( 106182.21㎡ <del>106,836.16㎡</del> )	( 0 ㎡)	( 0 ㎡)	( 106182.21㎡ <del>106,836.16㎡</del> )					
(3) 教 室 等	講 義 室	119室 95室	演 習 室 39室 37室	実験実習室 94室 73室	情報処理学習施設 10室 14室 (補助職員 5人 4人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	教室の用途を見直し転 用したため修正(3)		
	新設学部等の名称			室 数					
(4) 専任教員研究室	工学部 機械電機システム工学科			25 室					
	(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	年次の整備(3)
工学部		13,681 [2,095] (7,002 [1,400]) <del>(5,374 [925])</del>	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	100 (36)	12,264 (12,233)	- (-)		
計		13,681 [2,095] (7,002 [1,400]) <del>(5,374 [925])</del>	3 [0] (3 [0])	3 [2] (3 [2])	100 (36)	12,264 (12,233)	- (-)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		開設時増設(2)		
	5185.89㎡		975席 970席		483,840冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5046.41㎡		野球場1面、テニスコート6面、弓道場1施設、アーチェリー場1施設						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・業者からの価格再提示 による金額変更 (2) ・業者からの価格再提示 による金額変更 (3)
		教員1人当り研究費等	2000千円	2000千円	図書購入費	36,989千円	19,343千円	9,065千円	
	共同研究費等	10000千円	10000千円	設備購入費	1,341,989千円 1,374,808千円	137,297千円 146,769千円 133,133千円	5,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,600千円	第2年次 1,460千円	第3年次 1,460千円	第4年次 1,460千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	京都先端科学大学					学生募集停止学科数	3	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部						0.55	0.49				
機械電機システム工学科	4	200	-	400	学士(工学)	0.55	0.49		令和2年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
経済経営学部						1.00	0.89				
経済学科	4	185	-	695	学士(経済学)	1.00	0.89		令和3年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	経済学科、経営学 入学定員 平27~29 150 平30~令2 170
経営学科	4	185	-	695	学士(経営学)	1.01	0.89		令和3年度		
人文学部						1.02	0.85				
心理学科	4	80	-	320	学士(人文)	1.05	1.00		平成27年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
歴史文化学科	4	90	-	360	学士(人文)	1.00	0.72		平成27年度		
バイオ環境学部						0.76	0.59				
バイオサイエンス学科	4	65	-	260	学士(A* 付環境)	0.80	0.53		平成18年度		A* 付サイエンス学科入学定員 平27~29 90 平30~ 65
バイオ環境デザイン学科	4	55	-	220	学士(A* 付環境)	0.83	0.56		平成18年度	京都府亀岡市菅我部町南条大谷1番地1	A* 付環境デザイン学科入学定員 平27~29 60 平30~ 55
食農学科	4	40	-	250	学士(A* 付環境)	0.67	0.72		令和3年度		食農学科入学定員 平27~29 80 平30~令2 70
健康医療学部						0.97	0.86				
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	0.98	0.98		平成27年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地	
言語聴覚学科	4	30	-	120	学士(言語聴覚学)	0.87	0.76		平成27年度		
健康スポーツ学科	4	90	-	360	学士(健康スポーツ学)	0.99	0.78		平成27年度	京都府亀岡市菅我部町南条大谷1番地1	
経営学部											
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-		平成3年度	京都府亀岡市菅我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
法学部											
法学科	4	-	-	-	学士(法学)	-	-		平成元年度	京都府亀岡市菅我部町南条大谷1番地1	平成27年度より 学生募集停止
人間文化学部											
歴史民俗・日本語 日本文化学科	4	-	-	-	学士(人間文化)	-	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
歴史民俗学専攻	4	-	-	-	学士(人間文化)	-	-		平成20年度		平成27年度より 学生募集停止
日本語日本文化専攻	4	-	-	-	学士(人間文化)	-	-		平成21年度		平成27年度より 学生募集停止



大学の名称	京都先端科学大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍	倍			
工学研究科										
機械電気システム工学専攻	2	15	—	30	修士(工学)	0.33	0.06		令和2年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地
機械電気システム工学専攻	3	2	—	4	博士(工学)	0.50	0.00		令和2年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地
経済学研究科										
経済学専攻	2	5	—	10	修士(経済学)	1.60	1.80		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地
経営学研究科										
経営学専攻	2	5	—	10	修士(経営学)	0.30	0.20		平成7年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地
人間文化研究科					修士(文化研究)					
人間文化専攻	2	10	—	20	修士(社会情報)	0.40	0.20		平成14年度	京都府京都市右京区山ノ内五反田町18番地
					修士(心理学)					
バイオ環境研究科										
博士課程前期バイオ環境専攻	2	20	—	40	修士(バイオ環境)	0.10	0.05		平成22年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1
博士課程後期バイオ環境専攻	3	3	—	9	博士(バイオ環境)	0.00	0.00		平成22年度	京都府亀岡市曾我部町南条大谷1番地1

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
設置計画履行状況  調査時  (令和2年)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (工学部機械電気システム工学科)	2021年度入試は入学定員200人のうち4月入学は160人、9月入学は40人に分けて募集を行った。  2021年度4月入学の入学人数は99人となったが、これは本学部の入学者受け入れ方針に合う学力を有する学生を厳格に選抜したためである。  9月入学の入学予定者を現時点で59人確保しており、9月入学者まで含めると158人の入学者となる予定である。(3)	本学部の教学内容や入学者受け入れ方針の浸透を以下の方法により図る。(1)これまでの日・英の両言語でのホームページ、Twitterに加え、LinkedInの開設によるネットワーク拡充、(2)Web配信コンテンツの充実、(3)国内向けダイレクトメール送付と学部ウェブサイトへの誘導、(4)国外エージェントの活用と海外向けWebinarによるオンライン入試フェア、模擬講義の実施、(5)近畿圏高校への訪問と模擬授業の実施、(6)学部見学の積極受け入れと模擬講義の実施、(7)オープンキャンパスでの学部紹介の充実、(8)学部紹介パンフレットの刷新、(9)新聞・雑誌からの積極的取材の受け入れ、(10)教育活動・研究成果の積極的広報。(3)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 機械電機システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>①新型コロナウイルス感染症の感染防止のための遠隔授業の実施                      新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、本学は授業の形態を遠隔授業として2020年度春学期の授業を4月6日より開始した。その後、全国で緊急事態宣言が発出され、特に京都市は「特定警戒都道府県」にも指定されたため、当面5月6日までとしていた遠隔授業を5月7日以降も継続することとし、春学期終了まで遠隔授業とすることとした。遠隔授業の方法は、本学の学修支援システムを活用し、教員による課題提示型の授業によって学生には課題等を提出させ、教員が採点・返却、講評、フィードバックを行っている。また、4月下旬からはTeams、Zoom、TV会議によるオンライン双方向授業を行うなど、双方向の授業形態で実施している。(2)</p> <p>2021年度春学期の授業については、2020年度秋学期から引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施している。</p> <p>具体的には、実験、実習、演習、資格、スポーツ・ライフスキル(体育実技)、語学では教室定員の50%以下を遵守しながら対面授業を実施し、講義科目は原則として遠隔授業として実施している。(3)</p>

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>2013年10月に教育開発センターを設置。当該センターは、本学の教育目的を実現するための諸活動に必要な大学教育に関する情報の収集、調査、分析および提供、IR活動を含む教学に関する企画の立案と実施を担い、教育活動及び教育機能の向上と発展に寄与することを目的とする組織である。センター内で定められた業務に関する事項の審議並びにその業務の運営管理・進捗状況把握・実施における検証・改善すべきプログラム等を検討する機関として教育開発センター委員会を置いている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>2018年度 FD・SD推進委員会 計5回開催 (2018.4.11, 2018.6.12, 2018.9.19, 2018.11.28, 2019.2.27)</p> <p>2019年度 FD・SD推進委員会 計1回開催 (2019.4.24)</p> <p>2020年度 教育開発センター委員会 計13回開催 (月1回定例・各月7名の委員で運営)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>2018年度FD・SD推進委員会について(計5回開催)</p> <p>議題</p> <p>(1) 2018年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について(案)</p> <p>(2) 2018年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて(案)</p> <p>(3) FD研修会について②SD研修会について③授業公開について④授業評価アンケートについて⑤ベストティーチャーにかかわる顕彰制度とフォロー制度について</p> <p>(4) 2018年度の委員の分担について</p> <p>(5) 2018年度活動方針について</p> <p>(6) 私立大学等改革総合支援事業について</p> <p>(7) 教員英語力向上ニーズアンケート(案)実施に向けて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 2017年度FD・SD推進活動報告書の作成について</p> <p>2019年度FD・SD推進委員会について(計1回開催、メール審議10回実施)</p> <p>議題</p> <p>(1) 2019年度FD・SD推進委員会の事業方針と運営について(案)</p> <p>(2) 2019年度FD・SD推進委員会事業とスケジュールについて(案)</p> <p>(3) FD・SD研修会について</p> <p>(4) ①FD・SD研修会について②授業公開について③授業評価アンケートについて④2019年度の委員の分担について⑤委員会開催日程について⑥学習成果の評価について</p> <p>2020年度教育開発センター委員会(計13回実施)</p> <p>(1) 2020年度FD・SD研修の事業方針と運営について</p> <p>(2) 2020年度各学部FD(実施方針)について</p> <p>(3) 2019年度FD・SD活動報告書作成</p> <p>(4) 学修ポートフォリオ(学修成果の可視化)に向けて</p> <p>(5) 学外FD・SD研修委員の選出</p> <p>(6) カリキュラムマップ整備</p> <p>(7) 各種アンケート実施(新入生・卒業生・授業評価アンケート・学生意識調査)</p> <p>(8) 各種アンケート集計結果・総括まとめ作成</p> <p>(9) 授業評価アンケート、改善検討、授業評価選定基準見直し等</p>
--

<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会： 科研究の管理運営、スタートアップゼミ担当研修、ルーブリック作成ワークショップなど</li> <li>・SD研修会： 障害のある学生支援、学生対応対策など</li> <li>・学生アンケートによる授業評価： 授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会： 科研究の管理運営、授業づくりワークショップ、教務システム利用勉強会など</li> <li>・SD研修会： 障害のある学生支援、マナー対策など</li> <li>・授業公開： 前年度に授業評価を受賞した教員が授業公開</li> <li>・授業公開意見交換会： 授業公開直後に、公開された授業に対する意見交換を実施</li> <li>・学生アンケートによる授業評価： 授業評価アンケート等で高評価の授業担当者を学長表彰</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD： 科研究の管理運営、先端なび利用説明会、遠隔授業での授業方法、SLS科目（大学におけるスポーツ実践教育による国際社会人基礎力への期待）</li> <li>・全学SD研修会： 大学の財政・ハラメント・ガバナンス等</li> <li>・各学部研修会： 工学研究科 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学部FD研修会（各科目の講義内容と実施方法を、学部教員全員で相互に検討する）</li> <li>② EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ</li> <li>③ 日本語クラス 対象： 工学部外国人教員</li> <li>④ MATLAB研修会</li> <li>⑤ 遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介、各科目の実施方法検討）</li> <li>⑥ FLIP授業の勉強会</li> </ul> </li> <li>・学生アンケートによる授業評価賞・・・授業評価アンケート、高評価の授業担当者を学長表彰</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会： 年9回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている）</li> <li>・SD研修会： 年6回実施（うち6回は全学FD研修会と共催）</li> <li>・学生アンケートによる授業評価： 授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会： 年14回実施（授業担当者等にはビデオ研修による追加参加申請が可能にしている）</li> <li>・SD研修会： 年9回実施（うち9回は全学FD研修会と共催）</li> <li>・授業公開： 前年度授業評価受賞者の授業を参観し、参観後に意見交換会を実施</li> <li>・授業公開意見交換会： 授業公開直後に全学FD研修会として実施</li> <li>・学生アンケートによる授業評価： 授業評価アンケート等をもとに学部FD推進委員会で受賞者を選出、全学FD・SD推進委員会で決定、学長室が表彰するとともにホームページで公表</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会： 年10回実施（オンデマンド配信）</li> <li>・全学SD研修会： 年4回実施（全学FD研修会と共催）</li> <li>・授業公開： 前年度授業評価受賞者の授業参観、意見交換会を実施予定であったがコロナ禍のため未実施</li> <li>・各学部研修会： 工学部 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学部FD研修会： 毎週3～4科目ずつ検討</li> <li>② EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ・・・5グループに分けて、各グループ週2回合計16回実施</li> <li>③ 日本語クラス 対象： 工学部外国人教員、2020年度当初から随時</li> <li>④ MATLAB研修会： 2020年度当初から毎水曜日5回実施</li> <li>⑤ 遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介）： 2020年3月実施</li> <li>⑥ FLIP授業の勉強会： 2019年10月24日カリフォルニア大学Huntering博士を招聘し実施</li> </ul> </li> <li>・学生アンケートによる授業評価賞： 授業評価アンケートをもとに教育開発センター委員・教務センター委員が審議し、各学部より表彰者を選出、教育開発センター委員会で最終候補者を決定、大学評議会にて報告。</li> </ul> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会・・・2018.4.18/25（74名）、7.18（25名）、8.1/8（21名）、9.12/13（71名）、11.29（17名）、12.20/25（111名）、12.25（39名）、2019.1.23（44名）、2.27/3.7（82名）</li> <li>・SD研修会・・・2018.4.18/25（12名）、7.18（9名）、8.1/8（19名）、11.29（10名）、12.20/25（70名）、12.25（5名）、2019.1.23（4名）、2.27/3.7（3名）</li> <li>・学生アンケートによる授業評価賞・・・学長室で表彰を実施（2019.3.10）</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学FD研修会・・・2019.4.17/24（82名）、7.5（8名）、7.10（6名）、9.2-3（12名）、9.26（23名）、10.30（17名）、11.6（6名）、11.12（89名）、12.20（2名）、12.9（1名）、12.20（19名）、12.23（23名）、2020.2.7（24名）</li> <li>・SD研修会・・・2019.4.17/24（18名）、7.5（14名）、9.21（1名）、9.26（11名）、10.30（48名）、11.12（11名）、11.22（3名）、12.9（1名）、2020.2.7（12名）</li> <li>・授業公開・・・（秋学期）2019.9.21、11.6、11.22、12.9実施（授業評価受賞者の授業）</li> <li>・授業公開意見交換会・・・2019.9.21、11.6、11.22、12.9の全学FD研修会</li> <li>・学生アンケートによる授業評価賞・・・各受賞者に表彰を実施（2020年3月以降、COVID-19影響により変更）</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FD/SD研修会・・・1回目（217名）、2回目（225名）、3回目（222名）、4回目（212名）、5回目（202名）、6回目（276名）、7回目（267名）、8回目（270名）、9回目（233名）、10回目（194名）</li> <li>・工学部FD・SD研修会・・・専門科目を英語で開講するため、全ての工学部所属教員がEMIのワークショップに参加。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 学部FD研修会・・・20名参加</li> <li>② EMI（English-Medium Instruction）のワークショップ・・・20名参加</li> <li>③ 日本語クラス 対象： 工学部外国人教員・・・15名参加</li> <li>④ MATLAB研修会・・・6名参加</li> <li>⑤ 遠隔講義方法検討会（利用可能なツールの相互紹介）・・・20名参加</li> <li>⑥ FLIP授業の勉強会・・・20名参加</li> </ul> </li> <li>・学生アンケートによる授業評価賞・・・各受賞者に表彰を実施（2021年3月24日実施・HP公開済み）</li> </ul> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>全学FD・SD推進委員会で検討された内容は、各学部のFD委員会において更に検討されている。</p> <p>授業公開は、2019年度秋学期からは全科目（11名）で、体育実技・実験・実習を除く）で実施している。</p> <p>授業参観後のアンケートをもとに、学部FD研修会等で科目担当者と参観者が活発に意見交換し、授業改善を図っている。</p> <p>2018年度はさらに効果的な授業公開となるように見直し、2019年度から授業評価受賞者による授業公開を実施して授業改善を図っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>授業評価アンケートの実施 有</p> <p>実施時期、春学期・秋学期（各1回）</p> <p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケート・・・通常期間2018.7.14～7.27、2018.12.24～2019.1.21（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施）</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケート・・・通常期間2019.7.15～7.28、2019.12.19～2020.1.23（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施）</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケート・・・通常期間2020.7.9～7.27、2021.1.6～2021.1.24（ゼミ、オムニバス形式、実験・実習、大学院科目を含む全科目で、ウェブシステムを利用して実施）</li> </ul> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>授業評価アンケートの結果については、各科目担当の教員へフィードバックされる。担当教員は、受講生の評価・コメント（自由記述欄）に対して「先端なび」を通して回答を行う。科目分野、学部別の評価の集計結果をホームページで公表もしている。（「先端なび」にて、授業評価アンケート回答⇒教員集計結果および自由記述欄確認⇒教員から授業に関するフィードバックコメントを記載、科目毎に授業改善を行う）</p> <p>また当該アンケートを用いて教育開発センター委員および教務室の意見を参考の上、各学部毎に授業評価受賞者を選出。教育開発センター委員会で決定後、学長が表彰するとともに、ホームページで公表している。</p>
---

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部機械電気システム工学科は、機械分野と電気分野に跨る専門分野の基礎知識を修得した上で、物事の本質を把握し論理的に思考する能力を身に付け、グローバルな視点で社会ニーズに基づく問題を発見し、自らの専門能力を総合的に駆使して適切に解決できる人材の育成を目的としている。

設置2年目の現段階では、専門基礎科目として全分野において基礎となり、進路に関わらず履修すべき基礎的な数学、物理、情報処理の学修を行い、専門科目を履修するための基礎を身に付ける学修を行っている。

2021年度春学期の授業は、2020年度秋学期から引き続き対面授業と遠隔授業を併用して実施しており、実験、実習、演習、資格、SLS(体育実技)、語学では教室定員の50%以下を遵守しながら対面授業を実施し、講義科目は原則として遠隔授業として実施している。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、取り組みを進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和3年7月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に(公財)日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成27年3月に適合の評価結果を得た。このため、令和3年度までに(公財)日本高等教育評価機構の認証評価を受けるべく、学内で準備を進めている。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和3年度)

a 公表予定の有無 [ 有 ・ 無 ]

◀ a で「有」の場合 ▶

b 公表(予定)時期 [ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2~3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]

◀ a で公表「無」の場合 ▶

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。